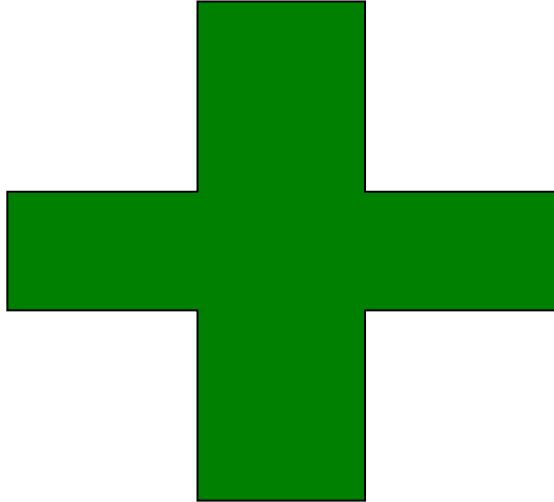


型枠工事の作業から予測される災害



安全工程打合せやKYミーティングに
大いに活用しましょう。

株式会社 長南工務店

平成27年3月7日改訂

作業工程

予想される災害

1. 型枠加工下拵え作業

加工図に基づきパネル加工し
補助棧を取付け、孔あけ

面木、目地棒、サッシ欠込み材
インサート類取付

符号・記号・方向書入れ

加工材は建込順に整理集積する
(加工は置場で終わらせ、現場搬入の事)

- ・丸鋸による切傷
- ・ドリル使用時、手首をひねる
- ・釘打ち機誤射による、手指打抜く
- ・取付け時に手をぶつける

- ・積み重ねの荷崩れによる、挟まれ
- ・加工材につまづき転倒

2. 型枠墨出し作業

親墨出し(元請)

建込み墨出し(小墨出し)

敷棧取付

掃除口を設ける

- ・墨糸が切れ、目に当たる
- ・壁筋による切り傷
- ・床段差によるつまづく

- ・釘打ち機誤射による、手指打抜く
- ・釘打ち機使用時、コンクリート片が飛散し目に入る
- ・丸鋸・台鋸による切傷

・重点ポイント

**釘打ち機作業の約束事
シールド、保護メガネの使用徹底**

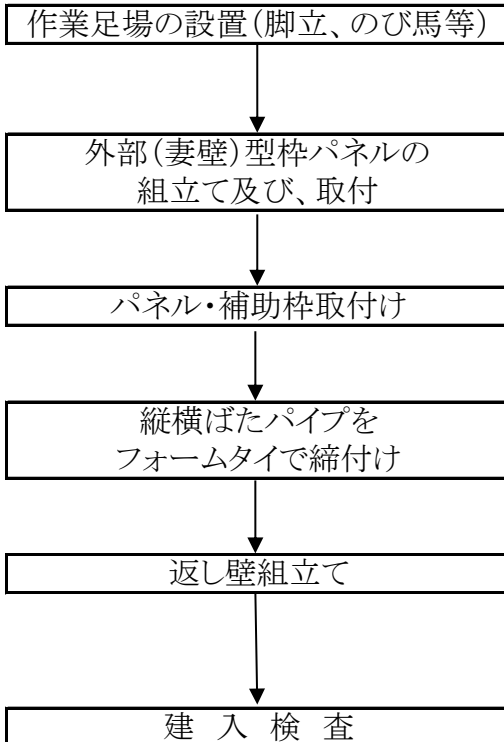


作業工程

予想される災害

3. 型枠 柱壁、梁、スラブ組立て作業

(1) 型枠柱壁組立て作業



- ・脚立の転倒、及び昇降時に転落
- ・足場、はね出し部分の天びんによる墜落
- ・組立部材破損による墜落

- ・丸鋸による切傷
- ・ばたパイプ落下

- ・安全帯未使用での、足場より墜落
- ・インパクト使用時、手首をひねる
- ・釘打ち機誤射による、手指打抜く

- ・脚立の転倒、及び昇降時に転落
- ・足場板破損による墜落
- ・足場はね出し部分の天びんによる墜落

・重点ポイント

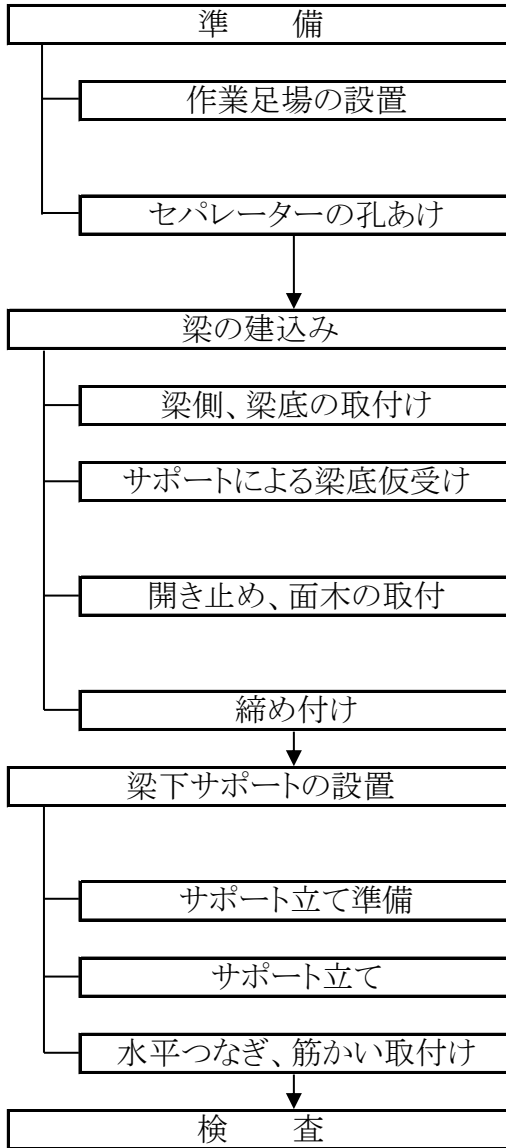
**脚立は出来るだけ、6尺使用する
脚立の天板での作業禁止**



作業工程

予想される災害

(2) 梁型枠建込み



- ・脚立の転倒、及び昇降時に転落
- ・足場板破損による墜落
- ・足場はね出し部分の天びんによる墜落
- ・ドリル使用中手首をひねる
- ・釘打ち機誤射による、手指打抜く
- ・組起し中の倒れ
- ・脚立の転倒、及び昇降時に転落
- ・安全带未使用での、足場より墜落
- ・脚立・のび馬からの転倒
- ・足場より墜落
- ・インパクト使用時、手首をひねる
- ・立掛けたサポートの倒壊
- ・梁下角パイプの落下
- ・不完全取付けで倒壊

・重点ポイント

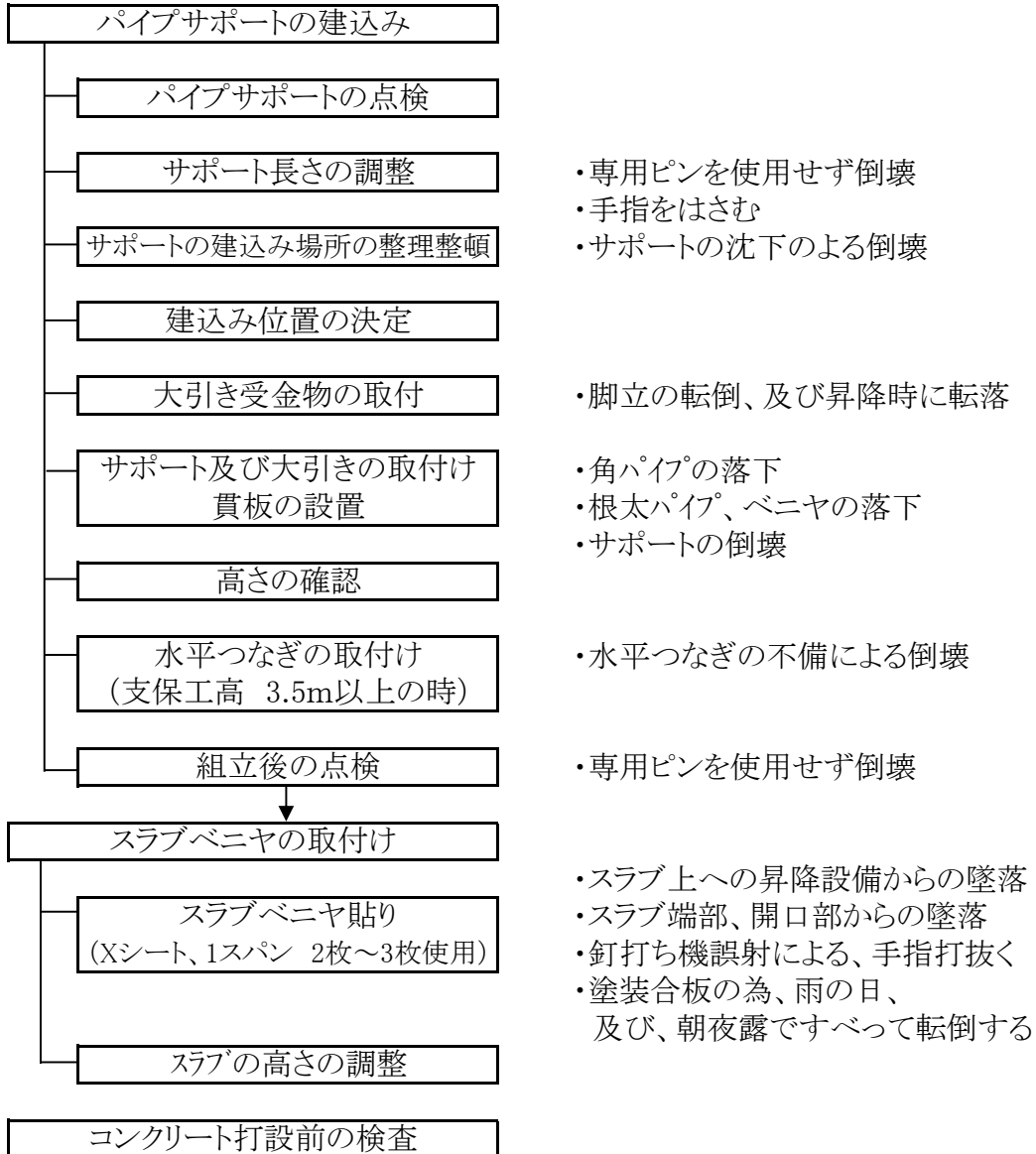
台鋸は躯体内に持込まない



作業工程

予想される災害

(3)スラブ型枠建込み



・重点ポイント

鉄筋等の集中荷重を絶対にさせない

滑動防止措置

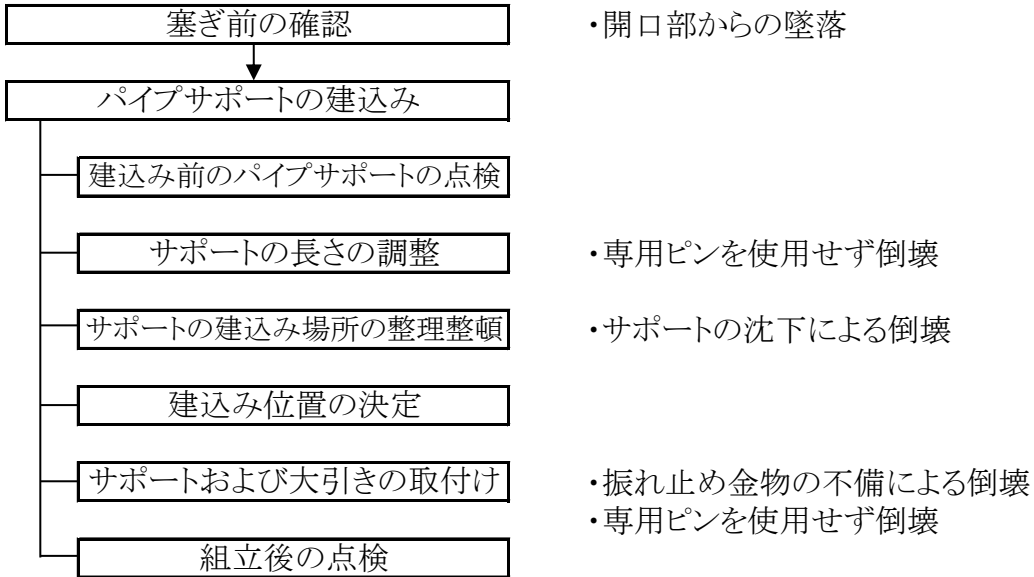
貫板の釘止めは、必ず行う事

作業工程

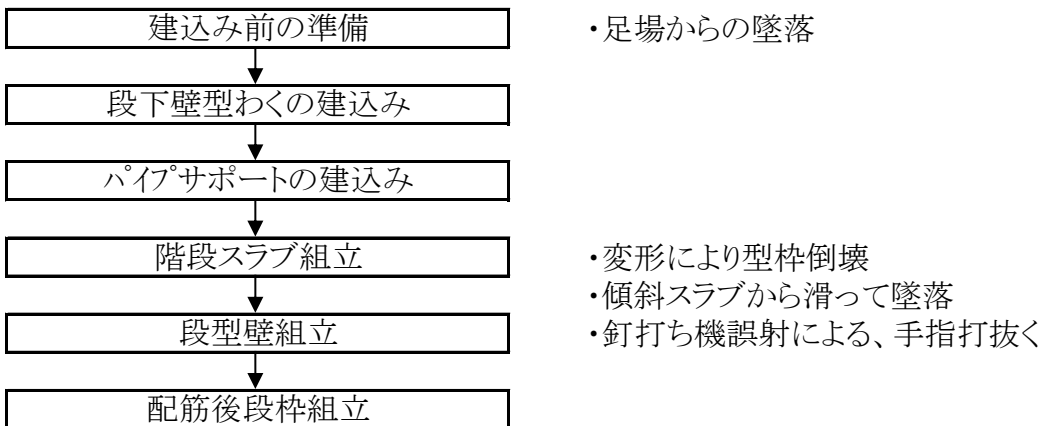
予想される災害

4. ダメ孔建込み、階段部分建込み組立作業

(1) ダメ孔建込み



(2) 階段部分の建込み



・重点ポイント

階段施工時の約束事
踏面のセパレーターは、飛出ない様、
ポカリセパを使用する事

作業工程

予想される災害

5. 型枠解体作業

(1) 内部壁、柱、梁側の解体

フォームタイの取りはずし

根太、パネルの解体

- ・脚立の転倒、及び昇降時に転落
- ・パイプが倒れ激突
- ・インパクト使用時、手首をひねる
- ・釘のふみぬき
- ・釘抜き機使用時の釘はねによる災害

(2) スラブ、梁底の解体

筋かい、水平つなぎの解体

サポートの間引き

大引き、根太をはずす

サポートをはずす

スラブおよび梁底のパネル解体

梁底を解体

- ・解体材の倒壊、飛散
- ・足場板はね出し部分の天びんによる墜落
- ・根太、大引き材の落下
- ・手順違いによる倒壊
- ・解体材の落下
- ・脚立の転倒、及び昇降時に転落
- ・安全带未使用での、足場より墜落
- ・釘のふみぬき

(3) 外壁、開口部、立上りなど型枠解体

フォームタイの取りはずし

パネルの解体

- ・解体材の飛散
- ・安全带未使用での、足場より墜落
- ・釘抜き機使用時の釘はねによる災害
- ・釘のふみぬき
- ・階段のセパレーターにつまづき転倒する
- ・解体時、バール・ハンマー等の先が欠け眼に入る

(4) 資材搬出

搬出

- ・玉掛け方法が悪く、又ワイヤーが切れ吊荷が落下する

・重点ポイント

**足場上に資材は出来る限り置かない
置く場合は、チェーン等で落下防止する**

**材料立掛け時は、コーナーに寄せ、
尚且つ、チェーンで結束する**

作業工程

予想される災害

6. 型枠 台鋸・丸鋸作業

台鋸・丸鋸の始業前点検

安全カバーの固定はないか

二重絶縁構造の丸鋸使用

電源プラグ、コードの点検

異常音、刃のガタツキの点検

スイッチを切り、5秒以内に止まるか

ベニヤ、栈木の切断

整理整頓

台鋸での小物材切断

丸鋸使用時、切断材片手持ち禁止

切断材の固定

周囲確認

電工ドラム(三芯使用)

コードは全部出して使用する



- ・スイッチが入っている状態でコードを差込み、刃が回転し手足を切る
 - ・丸鋸にて切断後、ブレーキが摩耗していて、刃が止まらず丸鋸が走り手足を切る
 - ・軍手使用で回転中の刃にまきこまれる
 - ・切断材を不安定な場所で切断中、刃が反ぱつし、手足を切る
 - ・台鋸使用時、幅の狭い物を切断する時に、押し棒を使用しないで、手(指)を切る
 - ・丸鋸使用時、材料を手で持ち切断し、手足を切る
 - ・縦引き切断中、材料が動き刃が反ぱつし、手足を切る
 - ・丸鋸にて切断後、隣にいる作業員の足を切る
-
- ・コードが過熱し、火災になる
 - ・コードが水溜りの中にあり、感電する

・重点ポイント

台鋸・丸鋸使用時は、軍手は使用しない

作業工程

予想される災害

7. 玉掛け作業

準備作業

ワイヤーの始業前点検

シャックルの始業前点検

- ・玉掛け時にワイヤーが切れ
吊荷が落下する
- ・シャックルピンが抜け荷が落下する

玉掛け作業

玉掛けをする(荷の重心を見る)

- ・荷振れを起こし挟まれる

吊り角度は30度以上60度以内
シャックルの使用

- ・角度が大きく、ワイヤーが切断する
- ・シャックルはフック側にワイヤーを掛ける
ボルト側には、ワイヤーを掛けない
ボルトが緩み、外れて荷が落下する



地切りをする(介錯ロープ使用)

- ・ワイヤーと荷で手を挟む
- ・荷振れを起こし、荷が激突する

荷を巻き上げる

- ・荷崩れを起こし、荷が落下する

材料横移動

- ・障害物と接触し、吊荷が落下する

荷を巻き下げる

- ・荷振れを起こし、荷が激突する

玉掛けを外す

- ・ワイヤーを外し荷崩れし、荷に挟まれる

重点ポイント

玉掛け作業の約束事

3・3・3運動の徹底・荷姿の確認

(地切30cm・3秒待つて点検・3m離れる)